

障害科学学位プログラム(博士前期課程)

基礎科目_障害科学学位プログラム(博士前期課程)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATC001	障害科学調査・実験実習I	3	1.0	1	春AB	月1,2	人間A101	岡崎 慎治, 名川 勝, 宮本 昌子, 宮内 久絵, 野呂 文行, 米田 宏樹, 柘植 雅義	障害科学分野の教育・心理・医学・福祉のそれぞれの側面について、その基本的な研究方法を実習形式で学習する。具体的には、文献検索および文献研究法、視覚検査法、聴覚機能評価法、知能・発達検査法、生理心理実験法、量的調査研究法、質的研究法、事例研究法等を取り上げ、グループ別に実習を行い、実習結果についてレポートを作成する。また、障害科学研究における研究倫理と研究倫理申請の手続きの実際についても説明する。	01EL002と同一。 主専攻必修科目。
OATC002	障害科学調査・実験実習II	3	1.0	1	秋ABC	随時	人間A101	柘植 雅義, 米田 宏樹	障害科学分野の教育・心理・医学・福祉のそれぞれの側面について、その基本的な研究方法のうちのいくつかを、自身の研究関心に即して選択し、実際に適用し、予備的研究を行い、研究結果を報告としてまとめる。この作業を通して研究実践の基礎を学ぶ。ここでは、先行研究のレビュー、研究課題・方法の設定、研究の実施、結果の分析・考察という一連の流れに即した実習を行う。合わせて、自身の研究に関する研究倫理申請書の作成もを行い、指導を受ける。	01EL003と同一。 主専攻必修科目。
OATC003	障害科学研究法I	3	1.0	1・2	通年	随時	人間A101	障害科学学位プログラム(博士前期課程)全教員	障害科学分野の教育・心理・医学・福祉のそれぞれの側面について、応用的、あるいは最新の研究方法を理解する。各学生は、修士論文指導教員の指導の下で、自身の研究関心に即して、先行研究のレビューを行い、その結果をもとに自身が取り組む研究課題および研究方法の明確化を行い、修士論文の研究デザインを作成する学位プログラム内の修士論文デザイン発表会における発表・討議・指導助言をへて、研究デザインを修正・確定する。なお、発表会における指導助言は論文指導小委員会の教員を中心に行う。	主専攻必修科目。
OATC004	障害科学研究法II	3	1.0	2	通年	随時	人間A101	障害科学学位プログラム(博士前期課程)全教員	障害科学分野の教育・心理・医学・福祉のそれぞれの側面について、応用的、あるいは最新の研究方法を理解する。各学生は、修士論文指導教員の指導の下で、自身の研究関心に即して、修士論文の研究を進め、データの収集・分析を行い、中間発表資料を作成する学位プログラム内の修士論文中間発表会における発表・討議・指導助言をへて、修士論文の完成に向けて必要な研究内容の修正を行う。なお、発表会における指導助言は論文指導小委員会の教員を中心に行う。	主専攻必修科目。
OATC005	障害科学研究法III	3	1.0	2	通年	随時	人間A101	障害科学学位プログラム(博士前期課程)全教員	障害科学分野の教育・心理・医学・福祉のそれぞれの側面について、応用的、あるいは最新の研究方法を理解する。各学生は、修士論文指導教員の指導の下で、自身の研究関心に即して、修士論文の研究を進め、データの分析・考察を行い修士論文を完成させる。修士論文の研究成果を分かりやすくまとめた最終発表資料を作成し、学位プログラム内の修士論文最終発表会における発表・討議を行う。	主専攻必修科目。
OATC006	海外特別研修セミナー	2	2.0	1・2	通年	随時		鄭 仁豪, 柿澤 敏文	韓国、台湾、中国、インドネシア、ベトナム等の特別支援教育に関する主要大学と連携し、各国の特別支援教育の制度・実情・研究状況等について調査・研究し、連携大学の大学院生・教員と共同セミナーを実施し、それぞれの調査・研究の成果を発表し、相互理解を深める。特別支援教育に関連する連携大学や関連諸機関を視察し、その実情の理解を深める。	
OATC007	障害科学講究	1	1.0	1	春季休業中	随時		小島 道生, 左藤 敦子	論文指導教員の指導を受けたうえで、障害科学学会において、修士論文で取り組もうとする研究の研究構想に関連した発表が、または、正式な研究発表(以下研究発表等)を行い、学会における研究発表等に関する質疑応答の結果も含めて、学会の参加内容をレポートにまとめ提出する。	

専門科目(共通)_障害科学学位プログラム(博士前期課程)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATC101	特別支援教育総論	1	2.0	1・2	春AB 春C	月6 月5,6	人間A101	米田 宏樹, 岡 典子	世界と日本の特殊教育・障害児教育の歴史的展開を概観するとともに、特別支援教育が目指すべき教育制度・実践について講述する。	01EL101と同一。 実務経験教員

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATC111	視覚障害教育学	1	2.0	1・2	秋AB	火1,2		小林 秀之	視覚障害児童・生徒の教育について、盲教育・弱視教育の視点から、その制度、教育内容、指導の特質などを解説する。具体的には、インクルーシブ教育システムと視覚障害教育、視覚障害の定義と分類、視覚障害児の学びの場それぞれの教育の特徴、視覚障害特別支援学校のセンター的機能、学習指導要領における視覚障害への配慮について、点字教科書と拡大教科書について、弱視児童生徒に対する見えにくさに対する対応、盲児童生徒の触覚の活用、点字の構成と日本点字表記法、視覚障害教育における交流・共同学習、視覚障害教育における専門性等について、詳述する。	01EL102と同一。 実務経験教員
OATC112	視覚障害指導法	1	2.0	1・2	秋AB	応談		小林 秀之、宮内久絵	視覚障害児に対する指導について、教科と自立活動領域の指導を中心にして、その指導内容、指導計画、指導方法、指導の評価等の視点から具体的内容を想定して検討する。	01EL103と同一。 実務経験教員
OATC113	視覚障害心理学	1	2.0	1・2	春AB	応談		佐島 毅	講義形式で授業を行う。視覚障害幼児の発達特性、常同行動・バーバリズム、触知覚の特性と概念形成、聴覚の特性と空間概念、障害物知覚と環境認知、点字とコミュニケーション、弱視児の視知覚特性、弱視児の学習と教育について学ぶ。また、弱視児の見えにくさや盲児の触覚認知の特性に応じた学習について理解を深める。	01EL104と同一。 実務経験教員
OATC114	視覚障害病態生理学	1	2.0	1・2	春ABC	随時	人間A101	柿澤 敏文	講義形式で授業を行う。視覚系の構造、視覚障害の原因疾患の病態、視機能への各疾患が及ぼす影響、視機能評価、弱視の見え方と支援方法について学ぶことを目的とする。視覚障害の概念、定義、分類とともに、視覚系の構造と視覚障害をもたらす疾患の病態生理、盲学校在籍者の視覚障害原因の年次推移と現状を概説する。さらに、視覚の獲得過程、視機能とその検査方法、弱視の見え方、指導上の留意点について論ずる。加えて、眼光学や視覚補助具について取り上げる。	01EL105と同一。 実務経験教員
OATC121	肢体不自由教育学	1	1.0	1・2	秋AB	応談		川間 健之介	わが国の肢体不自由教育の成立過程を欧米諸国と比較して概説するとともに、肢体不自由特別支援学校における児童生徒の障害の重度化、重複化の動向とこれが教員の専門性、教育の独自性に及ぼす影響について講述する。また、肢体不自由教育における今日的課題である障害の重度、重複化や多様化への対応について、教育課程の基準の弾力化、自立活動の指導、教授方法などの観点から概説する。	隔年開講：西暦偶数年度開講 西暦偶数年度開講。 01EL106と同一。 実務経験教員
OATC122	肢体不自由指導法	1	1.0	1・2					肢体不自由特別支援学校に就学する児童生徒のうち、脳性まひ等の脳性疾患に着目し、その障害特性を概説する。あわせて諸特性に基づく教科指導及び自立活動の指導の在り方について、具体的な実践を通じて概説する。	(隔年開講：西暦奇数年度開講) 01EL107と同一。 2020年度開講せず。 実務経験教員
OATC123	肢体不自由心理学	1	1.0	1・2	秋AB	応談		川間 健之介	肢体不自由児者の発達および心理学的課題について、運動学習、肢体不自由という心理的課題、肢体不自由が子供の発達に及ぼす影響、運動発達と認知発達、運動発達と認知発達の相互作用、社会性の発達と課題、コミュニケーションの発達と課題、中途障害者の心理、障害受容と社会参加を取り上げ、論述する。	01EL108と同一。 実務経験教員
OATC124	肢体不自由病態生理学	1	1.0	1・2	秋A	応談		竹田 一則	肢体不自由の病態生理について基礎的な理解をすすめるため、骨・筋ならびに運動に関わる中枢神経系の機能と構造の基礎および、その障害について学ぶ。具体的には、運動障害の総論、骨のマクロの構造と機能、骨の微細構造とホルモンとの関係、骨格筋のマクロの構造とその機能、骨格筋の微細構造と筋収縮のメカニズム、運動に関わる神経系の構造と機能に関連し、大脳の機能、錐体路、錐体外路とその障害、脳性まひを中心に生理学、医学の観点から概説する。	01EL109と同一。 実務経験教員

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATC131	障害児教育課程論	1	1.0	1・2	秋AB	応談		米田 宏樹	障害児教育における教育課程編成の原理と実際について概説し、障害の重度化、重複化あるいは多様化の中で、法令や学習指導要領に規定される特例を用いた弾力的な教育課程の編成について整理し、特別支援教育における教育課程の編成及び教育課程開発の在り方についての理解を深める。特に学校の社会的役割にもとづく教育課程の編成、教育課程編成に関わる法令・規定、特別支援教育における教材論・学習指導の原理等の特徴、各障害別の学習特性と教育的ニーズにもとづく教育課程の編成や授業実践の特徴等について講述する。	01EL110と同一。 実務経験教員
OATC141	知的障害教育学	1	1.0	1・2	春AB	応談		米田 宏樹	知的障害のある人々の生涯にわたる支援を実現するために、いかなる教育的支援や福祉的支援が必要なかを概観するとともに、知的障害のある人たちが「支援を受けながら自己実現を図る」力をつけていくために行われるべき学校における指導と支援のあり方、個別的教育支援計画を媒介にした学校と諸機関・地域資源との連携のあり方について講述する。	01EL111と同一。 実務経験教員
OATC142	知的障害指導法	1	1.0	1・2	秋ABC	応談		米田 宏樹	知的障害児童生徒・自閉症児童生徒の学習特性とその特性に応じた指導法について解説し、合わせて、学校における授業実践の在り方を、特別支援学校、通常学校特別支援学級、通常学校通級指導教室(自閉症児)の別に講述する。また、学校卒業後の生活と支援の在り方についても学習する。具体的なトピックスは、知的障害児の学習特性と生活教育、知的障害教育科の特徴、知的障害児童生徒教科等を合わせた指導(日常生活・遊びの指導・生活単元学習・作業学習)、教科別・領域別の指導(各教科の指導・自立活動の指導)、知的障害特別支援学校における授業の展開の実際、特別支援学級における授業の展開等。	実務経験教員
OATC143	知的障害心理学	1	1.0	1・2	春AB	応談		小島 道生	知的障害の発達支援に必要な教育心理学および発達心理学の基礎について講義する。典型的な心理的発達と知的障害の心理的発達の異同について説明し、能力の水準に応じて考えるべき問題と、能力の水準に関係なく蓄積されていく知識や経験の区別について講義する。また、個の特性に応じた適切な発達支援について講義する。	01EL113と同一。 実務経験教員
OATC144	知的障害病態生理学	1	1.0	1・2	春AB	集中	人間A101	塩川 宏郷, 米田 宏樹	知的障害および関連する発達障害の定義と、定義に関連する病態生理学的知見について基本的事項を講述する。また、虐待や非行、精神疾患についても概説し討論する。具体的トピックは、発達とその障害、中枢神経系の解剖学・生理学、操作的診断基準、知的障害、自閉症、注意欠如多動性障害、学習障害、知的障害・発達障害と虐待、知的障害・発達障害と非行等	01EL114と同一。 5/17, 5/24 実務経験教員
OATC151	聴覚障害指導法	1	2.0	1・2	春B 秋AB	集中 火5	人間A102	鄭 仁豪, 左藤 敦子	聴覚障害指導法とりわけ言語指導の理論や指導方法に関する基本的な事項を中心に、歴史的背景や指導に対する考え方、実際の指導方法について講述する。また、近年の指導方法を巡るさまざまな考え方についても講ずる。	実務経験教員
OATC161	重複障害指導法	1	1.0	1・2	秋AB	応談		川間 健之介, 佐島 毅	重複障害児の指導について、教育学、心理学、生理学の観点から理解し、障害科学としての課題解決に資する専門的な知識・技能を修得することを目的とする。そのため、重複障害児の指導における教育課程、健康上の課題、感覚の発達、コミュニケーション、教材教具を取り上げる。	実務経験教員
OATC171	特別支援学校教育実習	3	3.0	1・2	通年	随時		小島 道生, 小林 秀之, 米田 宏樹, 左藤 敦子, 川間 健之介	障害のある子どもたちの指導に必要な知識、技能、態度を習得するため、特別支援学校において3週間の実習を行う。附属視覚特別支援学校・附属聴覚特別支援学校・附属桐が丘特別支援学校(肢体不自由教育)・附属大塚特別支援学校(知的障害教育)・附属久里浜特別支援学校(知的障害教育、自閉症に特化)の5校を教育実習校とし、学生は単位習得状況に即して5校から1校を選択する。教科・自立活動等の授業の参観、ホームルーム・クラブ活動への参加、指導法や教材教具等に関する講義・実習の受講、および担当教科・領域の授業実習を行う。また、ホームルームの運営の実習も行う。	01EL120と同一。 実務経験教員

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATC181	発達・行動・言語障害指導法	1	2.0	1・2	春ABC	応談		宮本 昌子, 熊谷 恵子, 野呂 文行	発達障害 (LD、ADHD、自閉スペクトラム症等)、行動(情緒)障害 (不登校、選択性緘黙等)、言語障害 (吃音、構音障害等) について、「生理、心理的特徴」「指導法の基礎」「指導の実際」を講義する。	01EL121と同一。 実務経験教員
OATC182	発達・行動障害生理・心理学	1	1.0	1・2	春AB	集中	人間 A111	岡崎 慎治, 柘植 雅義	発達・行動障害生理・心理学における今日的課題を科学的に分析、理解できること、および実践科学としての障害科学における発達・行動障害生理・心理学的側面からの課題解決の専門的な知識・技能を得られることを目的に、医学・生理学、心理学など基礎科学の知見から発達・行動障害生理・心理学における今日的課題を分析、整理するとともに、実践科学として解消すべき課題は何かを学ぶ。	01EL122と同一。 5/10, 6/14 実務経験教員
OATC191	言語障害生理・心理学	1	1.0	1・2	春BC	集中	人間 A102	宮本 昌子	正常な機能を備えた中枢神経系を有していれば、適切な言語環境からの刺激で、子どもは正式な訓練なしでも言葉を話すようになる。一方、言語発達障害のある子どもは期待された年齢段階で期待される水準の話し言葉を獲得できない。これまで、原因不明とされてきた言語発達障害の謎が近年、解明されつつある。本講義では、生理・心理学の側面から言語獲得を阻害する要因について学び、適切な支援法について考える。	01EL123と同一。 実務経験教員
OATC1A1	病弱教育学	1	1.0	1・2					病弱児教育の対象や教育措置について概観するとともに、それぞれの教育措置に対応する教育課程を理解する。また、病弱教育の歴史的理解から、現在の病弱教育の成立過程を概観し、現在の病弱教育の動向及び課題について理解する。具体的には、病弱教育の歴史(戦前)、病弱教育の歴史(戦後)、病弱教育の意義、病弱教育の対象、病弱児の教育形態、病弱児の教育課程、病弱児の自立活動、移行教育、病弱児教育の現状と課題を中心に概説する。	西暦奇数年度開講。 01EL124と同一。 2020年度開講せず。 実務経験教員
OATC1A2	病弱指導法	1	1.0	1・2	春AB	集中	人間 A101	深澤 美華恵, 竹田 一則	病弱児の指導について、教育課程・教育形態との関連をもとに、それぞれの教育的ニーズを概観し、それに応じた指導の基礎を理解し、指導のあり方を検討する。具体的にはアレルギー疾患、悪性新生物、心臓疾患、腎臓疾患、筋・骨格疾患、心身症、精神疾患を中心に疾患と教育的ニーズを理解し、さらに病弱児に対する指導、特別支援学校(病弱)における指導(訪問教育を含む)、特別支援学級における指導(院内学級を含む)、通常の学級における指導(通級による指導を含む)、病弱児に対する自立活動の実際それぞれについて概説する。	西暦偶数年度開講。 01EL125と同一。 5/30, 5/31 実務経験教員
OATC1A3	病弱心理学	1	1.0	1・2					病弱児の発達、中途発病による心理的特徴に関する基礎的な理論、発達・心理のとらえ方、発達臨床、心理臨床の基礎について解説を行う。具体的には病弱と発達、病弱児の心理的特徴(身体的疾患)、病弱児の心理的特徴(精神的疾患)、中途障害としての病弱児の心理的特徴、病弱児・者のための心理アセスメント方法I(幼児・児童)、病弱児・者のための心理アセスメント方法II(成人)、病弱児・者の発達、心理援助のための諸理論と実践事例I(幼児)、病弱児・者の発達、心理援助のための諸理論と実践事例II(児童)、病弱児の心理援助のための諸理論と実践事例(成人)などを中心に概説する。	西暦奇数年度開講。 01EL126と同一。 2020年度開講せず。 実務経験教員
OATC1A4	病弱病態生理学	1	1.0	1・2	秋B	応談		竹田 一則	病弱の原因となる基礎的な疾患や病的な状態の病態生理を理解するために、小児期における疾病の経過および特徴や病態生理ならびにその治療や対応の概略について理解する。具体的には気管支喘息、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、肥満・メタボリック症候群、小児がん、心身症・精神疾患、発達障害、心疾患・腎疾患などを中心に概説し理解を深める。	01EL127と同一。 実務経験教員
OATC1B1	聴覚障害教育学	1	2.0	1・2	秋ABC	集中		鄭 仁豪, 左藤 敦子	聴覚障害教育の原理や教育内容、特別支援学校・特別支援学級・通級による指導などの多様な学びの場における教育の実際について理解するとともに、インクルーシブ教育時代における聴覚障害教育の在り方を考察する。	実務経験教員

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATC1B2	聴覚障害心理学	1	2.0	1・2	春ABC	集中	人間A102	鄭 仁豪, 左藤 敦子	聴覚障害児における発達上の問題点の背景を理解するために、聴覚障害のある個人の個体的側面と環境的側面、それらの側面の関連から聴覚障害の発達を捉え、聴覚障害児の理解と指導に必要な基礎的知識を理解するとともに、聴覚障害教育におけるコミュニケーションの発達や聴覚認知理論と実際について、聴覚障害児の理解と指導に必要な基礎的知識を学習することを目的とする。	実務経験教員
OATC1B3	聴覚障害病態生理学	1	2.0	1・2	春AB 春C	火3 集中	人間A102	原島 恒夫	聴覚障害に関連する聴覚器官の生理機能について、外耳、中耳、内耳、中枢聴覚系、音響学の基礎ならびに聴覚活用を支援するための補聴器や人工内耳の基礎について学ぶとともに、聴覚障害の生理病理的側面への理解を深め、聴覚障害児の音声生成、発声発語についての正しい知識を身につけることにより、聴覚障害児の音声言語指導の基礎を学ぶことを目的とする。	実務経験教員
OATC1C1	知的・発達障害心理学特講	1	2.0	1・2	秋AB	水3,4		小島 道生	知的障害、自閉スペクトラム症、学習障害、ADHDなどについて、発達のメカニズムをふまえながら、認知、言語、記憶、情動といった心的機能の特性と、有効な指導法を講義する。また、知能検査を中心としたアセスメント結果を発達支援に結びつける考え方などについて、事例の検討も交えながら講義・演習を行う。	01EL303と同一。 実務経験教員
OATC1C2	知的・発達障害指導法特講	1	2.0	1・2	春AB 春C	木1 木1,2	人間A101	熊谷 恵子, 岡崎 慎治	知的障害、発達障害の発達支援に必要な教育心理学および発達心理学の基礎について講義する。典型的な発達と知的障害、発達障害の異同について説明し、能力の水準に応じて考えるべき問題と、能力の水準に関係なく蓄積されていく知識や経験の区別について講義する。さらに、知的障害、発達障害の能力の水準、認知能力の特徴に応じた適切な指導について理解する。	01EL304と同一。 実務経験教員
OATC1D1	行動障害指導法特講	1	2.0	1・2	秋AB	随時		佐々木 銀河, 野呂 文行	行動障害に関する心理的特徴、アセスメント方法、指導計画の立案、指導法、指導の実際についての基礎的知識を講義するとともに、実践論文を取り上げ、その実際を提示する。特に行動論的立場からの指導法について講義する。	OATC1D1と同一。実務経験教員 01EL305と同一。実務経験教員
OATC1D2	臨床発達心理学	1	2.0	1・2	春AB 春C	月4 月3,4	人間A101	大六 一志	発達心理学の最近の考え方、および基礎的な知見について理解する。またそれを教育や臨床の実践に結びつける方法について理解する。さらに教育や臨床の実践から発達心理学の理論に還元できることについて理解する。 (1) 臨床発達心理学とは: 新しい発達観、インクルージョン、基礎と実践、(2) 臨床発達心理士の職務、(3) 発達の支援とは: 発達の最近接領域、足場作り、(4) 発達の原理・基盤的命題、(5) 発達課題、遺伝と環境、発達加速現象など、(6) 臨床発達心理学の研究法、(7) 対象の理解: 査定・検査・評価・診断の方法、理解のプロセス、(8)~(11) 発達の各期とその特徴と臨床I-乳児期・幼児期・児童期の特徴、臨床の実際、(12)~(15) 発達の各期とその特徴と臨床II-成人前期・成人後期・高齢期の特徴、臨床の実際、(16) 知能の生涯発達について、(17) 言語の生涯発達について、(18) 社会的スキルの生涯発達について、(19)~(20) 最近のトピックス	01EL301と同一。 実務経験教員
OATC1D3	教育臨床発達援助論	1	2.0	1・2	春BC	集中	人間A101	熊谷 恵子, 野呂 文行, 佐々木 銀河	定型発達の児童生徒も含めて、教育臨床場面における児童生徒の発達支援の原理と方法についての理解を深める。教育臨床場面における課題に対して、アセスメントを実施し適切な援助計画を立案できる力を涵養する。	(隔年開講: 西暦偶数年度開講) 西暦偶数年度開講。 01EL302と同一。 実務経験教員
OATC1D4	行動問題面接指導法特講	1	2.0	1・2	春AB 春C	金1 金1,2	人間A101	野呂 文行	知的障害を伴わない発達障害のある児童生徒の多くは、通常の学級において教育を受ける。そのような児童生徒の中には、多動による離席や教室からの飛び出し、他の児童生徒に対するちょっかいや他害など、行動上の問題を示すものも少なくない。この授業では、発達障害のある児童生徒の示す行動上の問題について、担任教師に対するコンサルテーションや学校組織内のコーディネーションを通じて、問題解決を行うための知識・技術の習得を目指す。特に応用行動分析学の分野で研究知見が示されている、包括的な行動支援の枠組みである「学校規模の積極的行動支援 (School-wide Positive Behavior Support)」の観点から、面接やコンサルテーション、コーディネーションの技法について演習や実習をまじえながら講義をする。	01EL306と同一。 実務経験教員

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATC1D5	臨床発達心理査定法特講	1	2.0	1・2	春ABC	集中	人間A101	岡崎 慎治, 原島恒夫, 野呂 文行	学校教育場面において必要とされる臨床心理学的評価の諸方法について、演習をまじえながら具体的な・実践的な講義を行う。認知機能・知的機能の評価(岡崎)、感覚の評価(原島)、行動・情緒面の評価(野呂)を中心に、基本的な理論、基本的技法、実際の臨床場面での適用方法と配慮事項について講述する。 学校教育場面において必要とされる臨床発達心理学的評価の諸方法について、その理論と具体的な技法について理解することを目標とする。	01EL308と同一。 6/7, 6/14, 6/28, 7/12 実務経験教員
OATC1D6	行動臨床心理学	1	2.0	1・2					障害のある児童生徒に加えて、定型発達児童生徒の支援の基礎となる臨床心理学に関する理論、アセスメント法、介入法に関する基礎的知識を習得する。アセスメント理論として「標準化された検査」「行動観察法」を中心に講義を行う。また介入の理論としては、「行動論的アプローチ」を中心に講義を行い、理解を深める。さらに実際の行動問題の理解に必要な理論と介入の実践について、詳細に講義する。さらに行動問題の開発に向けた連携の在り方についても解説する。	(隔年開講・西暦奇数年 度開講) 01EL312と同一。 2020年度開講せず。 実務経験教員
OATC1E1	障害学生支援学特講	1	1.0	1・2	春AB	月5	人間A111	名川 勝, 岡崎 慎治, 原島 恒夫, 小林 秀之, 佐々木 銀河	高等教育機関における障害学生支援に関わる理念ならびに関連法案について講述する。また、支援対象となる障害種(視覚、聴覚、運動、発達障害等)ごと、支援領域(時系列的理解、バリア解消、生活、就職ほか)ごとに支援方法を検討する。大学等の高等教育機関における障害学生の支援について、支援対象となる障害と支援のあり方について習得することを目標とする。また、障害学生や支援学生にも参加してもらい、障害学生支援について具体的な理解をはかる。 学校教育場面において必要とされる臨床発達心理学的評価の諸方法について、その理論と具体的な技法について理解することを目標とする。	01EL510と同一。 実務経験教員
OATC1E2	障害学生支援学演習	2	1.0	1・2	秋AB	月5	人間B232	名川 勝, 岡崎 慎治	参加学生は各テーマに基づき、文献調査あるいはフィールド調査を行い、発表、議論する。議論結果によっては更にテーマを深めて発表を行う。受講学生は「障害学生支援学特講」をあらかじめ履修したものとして実施する。また「特講」内で本学における障害学生支援に参加する機会を紹介するので、これらにも関わることが望ましい。	01EL510 障害学生支援学特講を受講しておくこと 01EL511と同一。 実務経験教員
OATC1F1	特別支援教育学	1	1.0	1・2	春AB	木2	人間A111	米田 宏樹	わが国の特別支援教育の理念と制度について、歴史的、社会的、あるいは国際比較の観点から講述するとともに、理念を実現するための学校組織マネジメントについても解説する。具体的なトピックスは、特別支援教育の理念の成立とその背景、特別支援教育の理念を実現する制度設計、特別支援教育の到達点と課題、欧米における障害児教育の動向と特別支援教育、インクルーシブ教育の国際動向と特別支援教育、特別支援教育における学校組織マネジメント、障害のある子どもの自立と自己実現と教育の役割等。	実務経験教員
OATC1G1	Special Lecture on Disability Sciences	1	1.0	1・2	春ABC	集中	人間A101	宮内 久絵, ラミチャネ カマル	オムニバスの講義形式で授業を行う。諸外国における障害科学に関連する課題について、その背景にある歴史的・文化的背景と併せて理解し、課題解決に資する知識・技能を修得することを目的とする。	英語で授業 01EL521と同一。 英語で授業。

専門科目_障害科学学位プログラム(博士前期課程)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATC201	視覚障害学特講I	1	1.0	1・2	春AB	火5	人間A102	柿澤 敏文, 小林秀之, 宮内 久絵, ラミチャネ カマル	オムニバスの講義形式で授業を行う。視覚障害学における諸事項について理解し、障害科学としての課題解決に資する専門的な知識・技能を修得することを目的とする。生理学・心理学・教育学等の様々な障害科学の視点から、視覚障害学領域における諸事項について論述する。	実務経験教員
OATC202	視覚障害学特講II	1	1.0	1・2	秋AB	火5		柿澤 敏文, 小林秀之, 宮内 久絵, ラミチャネ カマル	オムニバスの講義形式で授業を行う。視覚障害学における学問上・研究上の課題について理解し、障害科学としての課題解決に資する専門的な知識・技能を修得することを目的とする。生理学・心理学・教育学等の様々な障害科学の視点から、視覚障害学領域における学問上・研究上の課題について論述する。	実務経験教員

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATC203	視覚障害学演習I	2	1.0	1・2	通年	随時		柿澤 敏文, 小林秀之, 宮内 久絵, 佐島 毅, ラミチャネ カマル	演習形式の複数の授業を行う。日本における視覚障害学の諸課題について、文献収集・分析力ならびに実践情報収集・分析力を身につけ、データに基づき議論できるようになることを目的とする。日本における視覚障害学の諸課題について、基礎的・応用的研究論文等を講読したり、実践現場の情報収集・分析を行うなどし、具体的事例に基づいて問題解決方法を討議する。	
OATC204	視覚障害学演習II	2	1.0	1・2	通年	随時		柿澤 敏文, 小林秀之, 宮内 久絵, 佐島 毅, ラミチャネ カマル	演習形式の複数の授業を行う。諸外国における視覚障害学の諸課題について、文献収集・分析力ならびに実践情報収集・分析力を身につけ、データに基づき議論できるようになることを目的とする。諸外国における視覚障害学の諸課題について、基礎的・応用的研究論文等を講読したり、実践現場の情報収集・分析を行うなどし、具体的事例に基づいて問題解決方法を討議する。	
OATC205	視覚障害学演習III	2	3.0	2	通年	随時		柿澤 敏文, 小林秀之, 宮内 久絵, 佐島 毅, ラミチャネ カマル	視覚障害学を専門研究領域とする教員から論文指導教員を決定し当該教員の指導の下、視覚障害学領域に関する研究方法を具体的課題に即して習得し、研究論文の作成を行う。当該研究領域の先行研究のレビュー・研究課題の設定・研究方法の選定・データの収集・整理・分析・考察を指導教員の監督・指導の下で実施し、指導教員との共同討議を経て、研究論文を作成する。	
OATC211	聴覚障害学特講I	1	1.0	1・2	春AB	月4	人間A102	鄭 仁豪, 原島 恒夫, 左藤 敦子	聴覚障害学領域における教育・文化・社会・心理・医学生理・言語学的論点などの諸事項に関する基本的知識を学習することを目指し、聴覚障害学領域における諸事項について、生理学・心理学・教育学等の様々な障害科学の観点から、講述する。	
OATC212	聴覚障害学特講II	1	1.0	1・2	秋AB	月4		鄭 仁豪, 原島 恒夫, 左藤 敦子	聴覚障害学領域の諸事項に関する学術的な最新の研究課題について、聴覚障害児者の教育・心理・病態生理・福祉などの側面から課題を整理し理解するとともに、示された課題の解決や対応のためのアプローチについて講述する。	
OATC213	聴覚障害学演習I	2	1.0	1・2	通年	随時		鄭 仁豪, 原島 恒夫, 左藤 敦子	聴覚障害学の諸課題に関する情報収集の方法や分析能力を身につけるために、関連分野の基礎的ならびに応用的研究論文を講読し、研究上の論点を整理する。また、示された課題とその解決方法について、聴覚障害学における教育学・心理学・生理病理学の諸側面から議論を行うことにより、具体的な事例に基づく問題解決方法を学ぶ。	
OATC214	聴覚障害学演習II	2	1.0	1・2	通年	随時		鄭 仁豪, 原島 恒夫, 左藤 敦子	聴覚障害学演習Iにおける研究課題に対応できる体系的学修の成果に基づき、特定の課題に関する課題の設定、分析方法、資料の収集と整理、研究成果のまとめと報告といった科学的手続きについて学習し、聴覚障害学に関する基礎的ならびに応用的研究能力を培う。具体的には、聴覚障害学における問題意識および各受講生の関心に基づき、聴覚障害学における特定課題を設定し、研究方法(事例研究、授業研究、調査研究、実験研究、文献研究など)の採用、データの収集と分析に基づく研究プロポーザルの作成、データ収集と分析、研究の展開とディスカッション、成果発表と課題の抽出といった一連の作業を通して、聴覚障害学における研究手法について学ぶ。	
OATC215	聴覚障害学演習III	2	3.0	2	通年	随時		鄭 仁豪, 原島 恒夫, 左藤 敦子	聴覚障害学を専門研究領域とする教員から論文指導教員を決定し当該教員の指導の下、聴覚障害学領域に関する研究方法を具体的課題に即して習得し、研究論文の作成を行う。当該研究領域の先行研究のレビュー・研究課題の設定・研究方法の選定・データの収集・整理・分析・考察を指導教員の監督・指導の下で実施し、指導教員との共同討議を経て、研究論文を作成する。	
OATC221	運動障害学特講I	1	1.0	1・2	春AB	火6	人間A111	川間 健之介	生理学・心理学・教育学等の様々な障害科学の視点から、運動障害学領域における教育学・指導法・心理学に係る基礎的事項について論述する。運動障害学について概説し、運動障害心理学に対する理解を深め、それに基づく運動障害教育学と指導法についての考察を深める。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATC222	運動障害学特講II	1	1.0	1・2	秋AB	火6		川間 健之介	生理学・心理学・教育学等の様々な障害科学の視点から、運動障害学領域における学問上・研究上の課題について論述する。運動障害教育学における課題である脳性まひの運動発達の特徴、脳性まひの知覚認知の発達特性など心理学的視点から論述するとともに、障害の重度・重複化に対応した教育課程、教員の専門性などについても考察する。	
OATC223	運動障害学演習I	2	1.0	1・2	通年	随時		川間 健之介	日本における運動障害学の諸課題について、生理学・心理学・教育学等の様々な障害科学の視点からの邦文論文を講読したり、特別支援学校の研究紀要等の教育実践現場の情報収集・分析を行うなどし、具体的事例に基づいて問題解決方法を討議する。また必要に応じて、福祉や医療、労働等関連の状況についても文献等に基づき方法収集を行い、教育・福祉・医療の連携における障害科学の役割について考察する。	
OATC224	運動障害学演習II	2	1.0	1・2	通年	随時		川間 健之介	諸外国における運動障害学の諸課題について、生理学・心理学・教育学等の様々な障害科学の視点からの英文論文を講読したり、実践現場の情報収集・分析を行うなどし、具体的事例に基づいて問題解決方法を討議する。また必要に応じて、福祉や医療、労働等関連の状況についても文献等に基づき方法収集を行い、教育・福祉・医療の連携における障害科学の役割について考察する。	
OATC225	運動障害学演習III	2	3.0	2	通年	随時		川間 健之介	運動障害学を専門研究領域とする教員の指導の下、運動障害学領域に関する研究方法を具体的課題に即して習得し、研究論文の作成を行う。当該研究領域の先行研究のレビュー・研究課題の設定・研究方法の選定・データの収集・整理・分析・考察を指導教員の監督・指導の下で実施し、指導教員との共同討議を経て、研究論文を作成する。 (44 川間 健之介) 心理学的手法を用いた運動障害に関連する内容を中心に研究指導を行う。	
OATC231	病弱特講I	1	1.0	1・2	春AB	金3	人間A111	竹田 一則	病弱領域における諸事項について、生理学・心理学等の障害科学の視点から講述する。具体的には病弱の原因疾患の理解と課題について、アレルギー疾患(気管支喘息・アトピー性皮膚炎・食物アレルギー)、生活習慣病とメタボリック症候群等を取り上げる。	実務経験教員
OATC232	病弱特講II	1	1.0	1・2	秋C	金1,2		竹田 一則	病弱領域における諸事項について、生理学・心理学等の障害科学の視点から講述する。具体的には病弱の原因疾患の理解と課題について、小児白血病・心身症・発達障害・摂食障害・緘黙・重度重複障害等を取り上げる。	
OATC233	病弱演習I	2	1.0	1・2	通年	随時		竹田 一則	日本における病弱諸課題について、基礎的・応用的研究論文等を講読したり、実践現場の情報収集・分析を行うなどし、課題解決能力を涵養する。具体的には、気管支喘息、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、生活習慣病とメタボリック症候群、白血病をはじめとする小児がんなどの病弱に関わる課題を設定し、それぞれ発表と討議を行い、問題意識高め、理解を深める。	
OATC234	病弱演習II	2	1.0	1・2	通年	随時		竹田 一則	日本における病弱諸課題について、基礎的・応用的研究論文等を講読したり、実践現場の情報収集・分析を行うなどし、課題解決能力を涵養する。具体的には、摂食障害、心身症、自閉症スペクトラム症、ADHD、学習障害、重度重複障害などの病弱に関わる課題を設定し、それぞれ発表と討議を行い、問題意識高め、理解を深める。	
OATC235	病弱演習III	2	3.0	2	通年	随時		竹田 一則	病弱分野を専門研究領域とする教員から論文指導教員を決定し当該教員の指導の下、病弱領域に関する研究方法を具体的課題に即して習得し、研究論文の作成を行う。当該研究領域の先行研究のレビュー・研究課題の設定・研究方法の選定・データの収集・整理・分析・考察を指導教員の監督・指導の下で実施し、指導教員との共同討議を経て、研究論文を作成する。 (99 竹田 一則) 病弱教育に関連する内容を中心に研究指導を行う。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATC241	知的・発達・行動障害学特講I	1	1.0	1・2	春AB	木6	人間A101	野呂 文行, 熊谷 恵子, 柘植 雅義, 小島 道生, 岡崎 慎治, 米田 宏樹, 佐々木 銀河	生理学・心理学・教育学等の様々な障害科学の視点から、知的・発達・行動障害学領域における諸事項について論述する。	
OATC242	知的・発達・行動障害学特講II	1	1.0	1・2	秋AB	木6		野呂 文行, 熊谷 恵子, 柘植 雅義, 小島 道生, 岡崎 慎治, 米田 宏樹, 佐々木 銀河	知的・発達・行動障害学の学問上・研究上の課題について、生理学・心理学・教育学等様々な障害科学の研究アプローチ方法の観点から講述する。	
OATC243	知的・発達・行動障害学演習I	2	1.0	1・2	通年	随時		野呂 文行, 熊谷 恵子, 柘植 雅義, 小島 道生, 岡崎 慎治, 米田 宏樹, 佐々木 銀河	日本における知的・発達・行動障害学の諸課題について、基礎的・応用的研究論文等を講読したり、実践現場の情報収集・分析を行うなどし、具体的事例に基づいて問題解決方法を討議する。	
OATC244	知的・発達・行動障害学演習II	2	1.0	1・2	通年	随時		野呂 文行, 熊谷 恵子, 柘植 雅義, 小島 道生, 岡崎 慎治, 米田 宏樹, 佐々木 銀河	諸外国における知的・発達・行動障害学の諸課題について、基礎的・応用的研究論文等を講読したり、実践現場の情報収集・分析を行うなどし、具体的事例に基づいて問題解決方法を討議する。	
OATC245	知的・発達・行動障害学演習III	2	3.0	2	通年	随時		野呂 文行, 熊谷 恵子, 柘植 雅義, 小島 道生, 岡崎 慎治, 米田 宏樹, 佐々木 銀河	知的・発達・行動障害学を専門研究領域とする教員から論文指導教員を決定し当該教員の指導の下、知的・発達・行動障害学領域に関する研究方法を具体的課題に即して習得し、研究論文の作成を行う。当該研究領域の先行研究のレビュー、研究課題の設定・研究方法の選定・データの収集・整理・分析・考察を指導教員の監督・指導の下で実施し、指導教員との共同討議を経て、研究論文を作成する。	
OATC251	言語障害学特講I	1	1.0	1・2	春AB	木4	人間A101	宮本 昌子	生理学・心理学・教育学等の様々な障害科学の視点から、言語障害学領域における諸事項について論述する。具体的トピックは以下の通り。言語・発話・コミュニケーションの典型発達、言語障害の分類と原因、言語発達障害のアセスメント、構音障害のアセスメント、吃音のアセスメント、言語発達障害の支援、構音障害の支援、吃音の支援等。	
OATC252	言語障害学特講II	1	1.0	1・2	秋AB	木4		宮本 昌子	生理学・心理学・教育学等の様々な障害科学の視点から、言語障害学領域における諸事項について論述する。具体的トピックは以下の通り。通常での生活を視野に入れた言語障害教育研究・実践の動向、通常学級と通級指導教室の連携の実態、言語障害のある子どもが通常学級で感じる困難さ、発達障害を重複する言語障害のある子供の支援、教育現場における言語指導の現状と課題、通級指導教室での支援の実態と課題、親指導の実態と課題、言語障害教育に携わる教員の専門性、言語障害教育に携わる教員と他職種連携等。	
OATC253	言語障害学演習I	2	1.0	1・2	通年	随時		宮本 昌子	日本における言語障害学の諸課題について、基礎的・応用的研究論文等を講読したり、実践現場の情報収集・分析を行うなどし、具体的事例に基づいて問題解決方法を討議する。具体的トピックは以下の通り。言語障害生理学に関する日本国内の研究動向の分析と討議及び成果と課題、言語障害心理・指導法に関する日本国内の研究動向の分析と討議及び成果と課題、言語障害教育の理念と制度に関する日本国内の研究動向の分析と討議及び成果と課題等。	
OATC254	言語障害学演習II	2	1.0	1・2	通年	随時		宮本 昌子	諸外国における言語障害学の諸課題について、基礎的・応用的研究論文等を講読したり、実践現場の情報収集・分析を行うなどし、具体的事例に基づいて問題解決方法を討議する。具体的トピックは以下の通り。言語障害生理学に関する世界の研究動向の分析と討議及び成果と課題、言語障害心理・指導法に関する世界の研究動向の分析と討議及び成果と課題、言語障害教育の理念と制度に関する世界の研究動向の分析と討議及び成果と課題等。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATC255	言語障害学演習III	2	3.0	2	通年	随時		宮本 昌子	言語障害学を専門研究領域とする教員から論文指導教員を決定し当該教員の指導の下、言語障害学領域に関する研究方法を具体的課題に即して習得し、研究論文の作成を行う。当該研究領域の先行研究のレビュー・研究課題の設定・研究方法の選定・データの収集・整理・分析・考察を指導教員の監督・指導の下で実施し、指導教員との共同討論を経て、研究論文を作成する。 (345 宮本昌子) 心理学的手法を用いた音声・言語障害に関連する内容を中心に研究指導を行う。	
OATC261	障害福祉学特講I(福祉分野における理論と支援の展開)	1	1.0	1・2	春AB	月6	人間A111	森地 徹,大村 美保,名川 勝	社会福祉学における諸事項について理解し、課題解決に資する専門的な知識・技能を修得するために、障害福祉学領域における諸事項について講義する。	
OATC262	障害福祉学特講II(福祉分野における理論と支援の展開)	1	1.0	1・2	秋AB	月6		森地 徹,大村 美保,名川 勝	障害福祉学における学問上・研究上の課題について理解し、課題解決に資する専門的な知識・技能を修得するために、障害福祉学領域における学問上・研究上の課題について講義する。	
OATC263	障害福祉学演習I	2	1.0	1・2	通年	随時		森地 徹,大村 美保,名川 勝,小澤温,山中 克夫	日本における障害福祉に関する研究上及び実践上の諸課題について、文献収集とその分析力並びに福祉実践に関する情報収集とその分析力についてそれぞれ身につけ、それらを踏まえた上でデータに基づいて議論できるようになるために、日本における基礎的及び応用的な研究論文を収集及び分析をしたり、福祉実践に関する情報の収集及び分析をしたりして、そのことを踏まえた上で障害福祉に関する研究上及び実践上の諸課題の解決に向けた方法について討議することとする。	
OATC264	障害福祉学演習II	2	1.0	1・2	通年	随時		森地 徹,大村 美保,名川 勝,小澤温,山中 克夫	海外における障害福祉に関する研究上及び実践上の諸課題について、文献収集とその分析力並びに福祉実践に関する情報収集とその分析力についてそれぞれ身につけ、それらを踏まえた上でデータに基づいて議論できるようになるために、海外における基礎的及び応用的な研究論文を収集及び分析をしたり、福祉実践に関する情報の収集及び分析をしたりして、そのことを踏まえた上で障害福祉に関する研究上及び実践上の諸課題の解決に向けた方法について討議することとする。	
OATC265	障害福祉学演習III	2	3.0	2	通年	随時		森地 徹,大村 美保,名川 勝,小澤温,山中 克夫	障害福祉学を専門研究領域とする教員から論文指導教員を決定し当該教員の指導の下、障害福祉学領域に関する研究方法を具体的課題に即して習得し、研究論文の作成を行う。当該研究領域の先行研究のレビュー・研究課題の設定・研究方法の選定・データの収集・整理・分析・考察を指導教員の監督・指導の下で実施し、指導教員との共同討論を経て、研究論文を作成する。	
OATC271	障害原理論特講I	1	1.0	1・2	春AB	火2	人間A111	岡 典子	障害とは何かという本質的問いについて、人間社会と障害という観点から講述する。「障害」ということばは、純粋に心身の疾患や生理学的な状態像を意味する場合と、より社会的文脈において用いられる場合があるが、本講義ではとくに後者の内容を中心に扱う。種々の社会的条件が障害に及ぼす影響を及ぼすかについて、縦軸(時間軸)と横軸(国や地域)の異同を意識しながら考えていく。具体的には、政治・経済、諸科学、文化・宗教等を指標の例として取り上げる。	
OATC272	障害原理論特講II	1	1.0	1・2	秋AB	火2		岡 典子	障害原理論とはどのような研究分野なのかについて、基礎的事項を講述する。前半部分では、研究方法や研究課題の特徴について、具体的なテーマを例示しながら説明する。この段階ではとくに、複数の障害種を横断的に捉える観点や特別支援教育と障害者福祉の交点にかかわるテーマ等、障害原理論分野に固有の課題設定について学ぶ。後半では、いくつかの研究テーマを事例的に提示しながら、実際に研究を行う際のデータ収集の方法、分析の観点、留意事項等について解説する。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATC273	障害原理論演習I	2	1.0	1・2	通年	随時		岡 典子	障害原理論分野の研究を行ううえで必要となる手続きの基礎を修得する。まず実際に障害原理論分野の学術論文を輪読し、そもそも障害原理論の研究とはいかなるものかについて、内容と方法論の両側面から特徴を把握する。次に、データベース等を利用して障害原理論分野の文献検索・収集方法を学び、キーワードを手がかりに英文および邦文の二次資料を収集する。さらに一次資料を用いて、データの読み取り方、分析の仕方、考察の導き方等の基本的技術を獲得する。	
OATC274	障害原理論演習II	2	1.0	1・2	通年	随時		岡 典子	障害原理論分野の研究の幅広さを理解する。とりわけ近年の研究動向を把握することで、実際に障害原理論研究に取り組むための予備的学習を行う。具体的には、いくつかの研究テーマを設定したうえで英文で書かれた学術論文をレビューし、内容についてディスカッションを行う。取り上げるテーマとしては、特別支援教育・障害者福祉の歴史に関するもの、障害概念や障害者の権利に関するもの、障害者にかかわる法制度・政策にかかわるものを想定している。	
OATC275	障害原理論演習III	2	3.0	2	通年	随時		岡 典子	障害原理論を専門研究領域とする教員から論文指導教員を決定し当該教員の指導の下、障害原理論領域に関する研究方法を具体的課題に即して習得し、研究論文の作成を行う。当該研究領域の先行研究のレビュー・研究課題の設定・研究方法の選定・データの収集・整理・分析・考察を指導教員の監督・指導の下で実施し、指導教員との共同討論を経て、研究論文を作成する。 (29 岡 典子) 文献研究的手法によって障害と社会の関係を明らかにするような内容を中心に研究指導を行う。	
OATC281	理療科教育特講I	1	1.0	1・2	春C	月3,4	人間A102	緒方 昭広, 和田恒彦	理療科教員養成施設は、我が国唯一の特別支援学校自立教科(理療)の教諭を養成する教育機関として位置づけられている。歴史・現状・法規等の様々な障害科学の視点から、理療科教育領域における諸事項について論述する。	
OATC282	理療科教育特講II	1	1.0	1・2	秋C	月3,4		緒方 昭広, 和田恒彦	様々な障害科学の視点から、理療科教育領域における学問上・研究上の課題について論述する。具体的トピックは以下の通り。理療および理療科教育の先行研究、視覚障害者と理療教育、理療教育の現状と課題、理療教育における視覚補償、個々の視覚障害のニーズに応じた理療臨床教育、ICTを利用した理療教育、理療科教員養成の現状と課題、理療科教員養成の将来展望に関する討議	
OATC283	理療科教育演習I	2	1.0	1・2	通年	随時		緒方 昭広, 和田恒彦	日本における理療科教育の諸課題について、基礎的・応用的研究論文等を講読したり、実践現場の情報収集・分析を行うなどし、具体的事例に基づいて問題解決方法を討議する。具体的トピックは以下の通り。日本における理療(あん摩マッサージ指圧・鍼・灸)の諸課題、日本におけるおよび理療科教育の諸課題、あん摩マッサージ指圧鍼灸する日本国内の研究動向の分析と討議及び成果と課題、理療科教育にする日本国内の研究動向の分析と討議及び成果と課題等。	
OATC284	理療科教育演習II	2	1.0	1・2	通年	随時		緒方 昭広, 和田恒彦	諸外国における理療科教育の諸課題について、基礎的・応用的研究論文等を講読したり、実践現場の情報収集・分析を行うなどし、具体的事例に基づいて問題解決方法を討議する。具体的には、あん摩マッサージ指圧鍼灸する諸外国における研究論文の検索・収集・研究動向の分析と討議を行う。	
OATC285	理療科教育演習III	2	3.0	2	通年	随時		緒方 昭広, 和田恒彦	理療及び理療科教育を専門研究領域とする教員から論文指導教員を決定し当該教員の指導の下、理療及び理療科教育領域に関する研究方法を具体的課題に即して習得し、研究論文の作成を行う。当該研究領域の先行研究のレビュー・研究課題の設定・研究方法の選定・データの収集・整理・分析・考察を指導教員の監督・指導の下で実施し、指導教員との共同討論を経て、研究論文を作成する。	